

平成 13 年度
歯学教育情報技術活用研究集会
『IT を活用した歯学教育
～ 態度・知識・技能～』

参加対象

国・公・私立大学・短期大学の教員で、歯学に関する教育に携わっている方。

参加費

1 名 2、0 0 0 円（本協会加盟大学・短大の方）

5、0 0 0 円（本協会に加盟していない国公立大学の方）

申込の締め切りは3月18日（月）までとさせていただきます。

参加費につきましては、当日受付にてお支払いください。

日 時：平成14年3月23日（土）

会 場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

住所：東京都千代田区九段北4 - 2 - 25

TEL : 03-3261-9921

社団法人私立大学情報教育協会
歯学情報教育研究委員会

平成13年度歯学教育情報技術活用集会

『ITを活用した歯学教育～態度・知識・技能～』

日時：平成14年3月23日(土) 13:00～17:00

会場：私学会館(アルカディア市ヶ谷)

開催趣旨

21世紀を向かえ、歯学研究の高度化とその研究成果に裏付けられた歯科医療の専門分化、および社会環境の変化・複雑化に対応し、高度な技術、幅広い識見さらに豊かな人間性を有する歯科医療人の育成が歯科医学教育の重要な課題となってきた。そのため、厚生省、文部省、歯科大学学長会議などにおいて、歯科医師養成のあり方や歯科医師の資質に関する種々の提言・答申がなされ、平成13年3月、歯学教育プログラム調査研究会においては、歯学研究・歯科医療分野の動向と社会のニーズ等を踏まえた、学部段階での歯学教育における必要最小限の共通的な「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」が提案された。さらに、コア・カリキュラムの評価方法として、CBT(Computer Based Test)による共通試験の導入が、本年3月に試行される予定である。

以上のような、歯学教育を取り巻く環境の変化に対応すべく、歯学情報教育研究委員会では、これまでの研究成果でもある、態度教育・知識教育・技能教育の三分野における情報技術を活用した授業実例について報告し、歯学教育関係者との議論を通じて、コア・カリキュラム、EBMの確立に向けた新たな歯学教育の方法を模索したい。

プログラム

13:00 趣旨説明

神原 正樹 氏(大阪歯科大学大学院研究科科長)

13:15 CBT、OSCEに向けた歯学教育

報告者 俣木 志朗氏(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授)

歯学教育は、知識教育のCBT(Computer Based Test)、態度教育のOSCE(Objective Structured of Clinical Examination)、技術教育のシミュレーションが、医学歯学教育の教育改革の一環として、平成18年度から共用試験として実施されることになっており、今年度から施行されている。本報告では、CBT、OSCEについての現状と課題について解説・報告する。

13:50 委員会報告「ITを活用した歯学教育の紹介」

13:50 ネットワークによるインタラクティブ授業

報告者 河合 達志 氏(愛知学院大学歯学部講師)

高度情報化時代を迎え、歯学教育においても各種のメディアを用いて教育を行うことが可能となった。ここでは、授業時間における教育効果の向上や学生の自主学習を支援するために、光通信を基幹とする高速ネットワークを利用したインタラクティブな歯科理工学の授業実例を報告する。

14:10 自主学習のための問題作成システム

報告者 森實 敏夫 氏(神奈川歯科大学歯学部教授)

学生の自主学習へのインセンティブを高めるための手段として、Web上に自主学習用の問題を掲載することが考えられるが、そのためには、HTMLやJavaScriptを用いてプログラムしなければならず、その能力を習得することには時間と労力がかかる。ここでは、そのような手間を省くことができ、かつ操作方法が容易であるソフトTestMakerを活用した、自主学習のための問題作成システムについて報告する。

14:30 休憩

14:45 マルチメディアによる学生参加型グループ授業

報告者 那須 郁夫 氏（日本大学松戸歯学部助教授）

問題の調査や情報収集、それらの集計、統計処理などの、将来歯科医師として地域に携わる者が必要とされる能力を涵養するため、環境衛生や公衆衛生に関する身近な問題のフィールドワークやモデル実験において、インターネットや統計処理ソフトなどあらゆるメディアを活用した授業実例を報告する。

15:05 シミュレーションを活用した歯切削授業

報告者 神原 正樹 氏（大阪歯科大学大学院研究科所長）
上村 参生 氏（大阪歯科大学歯学部講師）

歯科医療においては、精巧な技術を要するものが多いにも関わらず、経験と勘に頼る実施過程や見学による習得が中心であり、系統だった教育がなされてこなかった。ここでは、臨床実習をより確実なものとするために、コンピュータによるシミュレーションシステムを利用した歯切削授業の実例を報告する。

15:25 バーチャル患者による総合診断授業

報告者 小菅 直樹 氏（日本歯科大学新潟歯学部助教授）

矯正歯科の臨床実習において接することのできる患者数や症例の種類は、時間的な制約により限られるため、多くの症例を実体験することが卒後研修の課題となっている。ここでは、独自開発した矯正歯科診断支援ソフトを活用し、学生により多くの症例に対する模擬診療体験を体験させた授業実例を報告する。

15:45 マルチメディア教材による口腔診査方法の実習

報告者 松久保 隆 氏（東京歯科大学歯学部教授）

乳幼児から高齢者までの各年齢で特徴的にみられる口腔内所見をWeb上で学生に提示し、口腔内のどの部位が健診時に注意して観察すべきかを考えさせ、あわせて記録はどの様に行うかを示すことが可能なマルチメディア教材を活用した、口腔衛生学の授業実例を報告する。

16:05 全体討議「コア・カリキュラム、EBMに向けての歯学教育」

21世紀の歯科医療改革と同時並行して、新たな歯科医療を目指した教育改革が進行している。その中で、歯学教育におけるIT化は、これまでの歯科医学教育の問題点を解決する上で避けて通れない話題でもある。特にコア・カリキュラム、EBMの確立に向けた教育を実施するのに際して、ITを活用した大学間連携は、有効的な手段であると考えられる。

ここでは、本委員会の報告についてご批判を仰ぐとともに、歯学教育のIT化の可能性・課題、またコア・カリキュラム、EBM確立に向けてのITを活用した大学間連携の可能性を模索したい。

17:00 終了

【問い合わせ先】

社団法人 私立大学情報教育協会

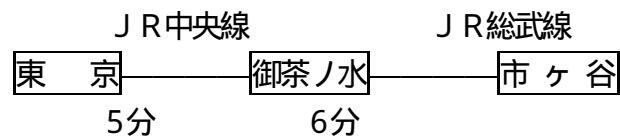
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-14 No. 1 山崎ビル 4 階

TEL: 03-3261-2798 FAX: 03-3261-5473

住所：東京都千代田区九段北4 - 2 - 25

TEL: 03 - 3261 - 9921

J R市ヶ谷駅までのご案内



交通のご案内

- 営 営団地下鉄 市ヶ谷駅A1-1出口 (有楽町線・南北線)
- 都 都営地下鉄 市ヶ谷駅A1-1 A4出口 (新宿線)
- JR市ヶ谷駅